

【自己破産・民事再生体験記アンケート回答】

1. クレジットカードのショッピング、キャッシングおよび自動車ローン等で約 700 万円の借入がありました。

クレジットカードは、社会人となった頃から利用していましたが、上記借入のほとんどは、近年 3～5 年間のものです。

2. 平成 19 年頃より病気療養のための休職、復職を繰り返すようになり、収入が大きく減少しました。さらに、平成 22 年 3 月にはリストラにより無職となったことから毎月の引き落としに対応できず、引き落とし不可となることが多くなってしまい、クレジットカード会社からの電話が頻繁にかかってくるような状態でした。

3. 平成 22 年 8 月頃より、人生の立て直しのため「債務整理」を決断し、その方法等を調べるようになりました。その中で、比較的評判が良さそうな弁護士事務所を数カ所ピックアップし、電話相談もしてみましたが、借入について「浪費」と判断される可能性が高いということや費用の工面の理由で依頼に至らなかった事務所もありました。

御事務所においては、電話相談後の面談にて事情を親身に聞いて下さったこと、費用も分割での支払いが可能であったことからお願いすることにしました。

4. 悩みのほとんどが金銭についてであったことを痛感しました。この悩みが和らぎ、心に余裕ができました。また、毎月の家計の状況を記録する必要から金銭の出入りを細かくチェックできるようになり、これまでのずさんな金銭感覚を反省することができました。

5. 求職期間中であつたことから時間の都合がつきやすかつたため資料の収集等に不便はありませんでした。また、用意する資料については事務員の方々が丁寧に説明して下さり、また不明点についても分かりやすくご案内して頂きました。

6. 管財人面談、債権者集会とも「これだけ？」というのが正直な感想でした。借金を帳消しにしようとしている行為に対して、もっと厳しい対応を受ける事を覚悟していました。債権者集会時に裁判官の方から頂いた「今後は身の丈に合った生活を送るように」という言葉、管財人の方からの「これまで色々あつたことは理解できました。今後の生活、頑張ってください。」という言葉には今後の「立て直し」に向けての決意をあらたにしました。

7. 手続中に就職することもでき、あらたな人生のスタートをきることができました。一時期に比べ収入は大幅に減少しましたが、「身の丈に合った生活」を心がけて過ごしています。返済の悩みがない分、充実した日々を過ごすことができます。

8. 費用については、額面は決して安い金額ではないですが、現在の充実した生活を得るための費用としては安かったと思います。

当初、分割払いでお支払いさせて頂きました。全額分割で支払っていた場合、手続がもっと後になっていたはずですが、不動産売却益が出たことにより、残金をここから充当することができたのは幸運でした。

9. 申し立てに関する資料の収集、申立書の作成の各段階で、ご担当の事務員の方が変わるのには若干困惑する部分もありましたが、分業により処理速度の向上を目指すという意味では理解できるシステムだと感じます。また、各事務員の方々が親切で、法律に素人的外れな質問にもご丁寧にお答え頂きました。

当初、申立に当たっては何度も事務所に伺い、準備をする必要があると予想していましたが、全て電話、FAX および郵送のみで済んでしまい、「本当に大丈夫かな？」と心配もしましたが、手続が終わった今となっては、負担の少なさに関心しております。

自分でも荒れた生活による借入であったことは反省しておりますが、このような状況でも手続を請け負って頂き、ご丁寧な対応をして下さり、「免責」の認可を受けることができたことを感謝しております。

債権者集会に出席した際、債務者の多さに驚きました。これからも、一人でも多くの方の人生のやり直しを手助け頂くよう祈念いたします。

